

乳がん高度検診・治療センター

NEW-す No.122

HBOC乳がん患者さんの新たな治療選択肢！ 治療薬「ターゼナ[®]」が新たに登場

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)の乳がん患者さんを対象に、この度2024年5月に新薬「ターゼナ[®](一般名:タラゾパリブ)」が発売になりましたのでご紹介します。

ターゼナ[®](一般名:タラゾパリブ)とは、

☆HBOCに関しては
NEW-すNo.73をご参考ください。

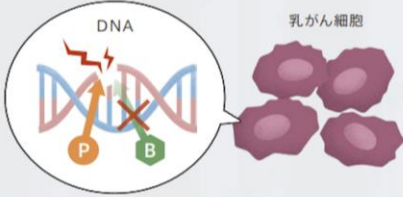
ターゼナ[®]とは、がんの生存に必要なPARPタンパクの働きを阻害する分子標的薬の一つです。今まではHBOCの方には同じPARP阻害薬のリムパーザ[®](一般名:オラパリブ)のみが適応とされておりましたが、この度PARP阻害薬の選択肢が1つ増えました。

BRCA変異陽性がんに対してPARP阻害剤が有効

P PARPたんぱく B BRCAたんぱく

1

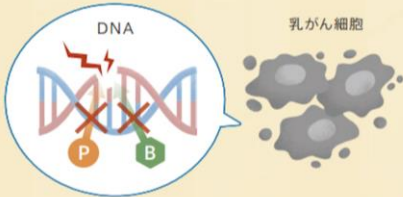
BRCA遺伝子変異陽性乳がん細胞では、BRCAによる修復はうまくはたきませんが、PARPによって遺伝子が修復されて生き残ります。



2

ターゼナを服用することで

ターゼナはPARPのはたらきを妨げます。BRCAがはたらかないがん細胞に作用すると、DNA損傷は修復されず、がん細胞は死に至ります。



引用:ファイザー株式会社提供資料より

ターゼナ[®]の対象・用法・副作用について

対象	化学療法歴がある、BRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性の進行再発乳がん患者さん ※BRCA遺伝子については採血で検査できます。 (保険適応で約6万円程度)
用法	 1mg 1日1回 1カプセル ※減量の際も薬剤数が複数になりますが1回/日は変わりません。)
副作用	貧血、吐き気、疲労感などですが、薬の減量や食事の工夫、吐き気止めなどで対応します。

リムパーザ[®]との優劣のデータはありません。
☆リムパーザ[®]に関してはNEW-すNo.51をご参考ください。

HBOCやターゼナ[®]について、ご質問、ご興味があれば遠慮なく担当医や看護師、薬剤師などにご相談ください。